

# 仕 様 書

## 1 購入物品及び数量

附属病院一般病棟用ベッド・マットレス等一式

## 2 納入期限

令和7年3月31日

## 3 納入場所

公立大学法人福島県立医科大学附属病院

## 4 購入内訳

別記のとおり

## 5 その他

- (1) 運送、搬入、据付、試運転、機器調整等を行い、使用可能な状態で引き渡すこと。なお、これらに要する費用は受注者の負担とする。
- (2) 必要に応じ、電気、ガス、排気等の接続を行うこと、なお、これらに要する費用は受注者の負担とする。
- (3) 納入の際は、事前に納入予定日時を発注者の指示する職員と協議の上、指示する場所に設置すること。不要な梱包材等の撤去は、受注者が行うこと。
- (4) 購入物品の運用及び管理に必要な事項について、最終検収前に発注者の指示する職員に対し、必要十分な知識及び技術について指導するものとする。ただし、その実施場所、時期、内容等は別に協議の上定め、指導に要する資材及び経費等は受注者が負担するものとする。
- (5) 受注者は、併せて発注者の指示する職員に対して、購入物品の取扱、操作、日常の保守点検等について、必要な技術指導を行うものとする。
- (6) 保証期間は納入後最低1年間とし、通常使用により故障・不具合が生じた場合は、速やかに無償で修理、調整を行うこと。

## 仕様書 別記

### I 調達物品名及び構成内訳

一般病棟用ベッド・マットレス等一式

#### 【構成内訳】

- 1 一般用電動ベッド A 624 台
- 2 一般用電動ベッド B 1 台
- 3 一般用電動ベッド C 2 台
- 4 差込式ベッドサイドレール 700 組
- 5 移動支援バー 30 本
- 6 ナースコール中継ユニット 100 個
- 7 操作パネル 100 個
- 8 抑制帯受 A 4 個
- 9 抑制帯受 B 628 個
- 10 抑制帯受 C 624 個
- 11 酸素ボンベホルダー 45 個
- 12 停電ハンドル 31 個
- 13 整形ボード 2 セット
- 14 マットレス A 514 枚
- 15 マットレス B 1 枚
- 16 エアマットレス A 35 枚
- 17 ケーブル 35 本
- 18 エアマットレス B 1 枚
- 19 エアマットレス C 2 枚
- 20 エアマットレス D 5 枚
- 21 エアマットレス E 2 枚

以上、搬入、据付、調整及び既存設備の撤去一式を含む。

### II. 調達物品の備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

- 1 一般用電動ベッド A 本体は、以下の要件を満たすこと。
  - 1-1 本体寸法は、幅 900～1,000mm×長さ 2,100～2,200mm であること。
  - 1-2 床からボトム上面までの高さが最低床高 260mm 以下、最高床高 600mm 以上であること。
  - 1-3 背、膝の角度調整、ベッドの高さ調整が電動操作により、それぞれ単独で行えること。

- 1-4 背ボトムと膝ボトムの連結部にはギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るため、短冊状に構成された屈曲ボトムにより緩やかな曲線を構成し、かつ伸びる機構を有すること。
  - 1-5 手元スイッチによるベッド操作の可能・禁止を動作箇所ごとに選択できること。
  - 1-6 背上げと膝上げ・膝下げの連動又は背下げと膝下げ・膝上げは、ギャッチ動作時における体のずれ、腹部圧迫を軽減するためにあらかじめ設定したパターンにて動作を行うこと。
  - 1-7 背上げと膝上げ・膝下げ、傾斜動作の連動は、ギャッチ動作時における体のずれ、腹部圧迫を軽減するためにあらかじめ設定したパターンにて動作を行うこと。
  - 1-8 業務の効率化のため、1-6, 1-7 の連動は、1 ボタンで操作できること。
  - 1-9 マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを備えること。
  - 1-10 キャスターは 125mm 以上の双輪キャスターを装備していること。
  - 1-11 キャスターは 4 輪の同時固定または一括解除をそれぞれワンタッチ操作で行えること。
  - 1-12 本院既設のナースコールシステムへ接続し、離床通知、端座位通知、起床通知および見守り通知するものであること。
  - 1-13 本院既設のナースコールシステムへ接続する際に、別途ケーブル、分配コンセント及び中継ユニット等が必要な場合は準備すること。
  - 1-14 業務の効率化のため、離床通知、端座位通知、起床通知および見守り通知を設定する場合は足側でも設定ができること。
  - 1-15 本ベッドは、エアマットレス(別売り)の電源をベッドから供給できる構造であること。
  - 1-16 ベッド動作中にゴミ箱や IV スタンドなどの障害物のはさみ込みを検知できる機能を有し、検知した場合はベッドが自動で反転動作をすること。
  - 1-17 ヘッドボード及びフットボードは容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためストッパーを設けること。また、ボード取り付け時にロックし忘れを防止するため自動ロック機構を有すること。
  - 1-18 背、膝、高さ調整は、業務の効率化あるいは症状に応じポジション確保が適切に行えるよう、2 段階以上の速度切り替え設定ができること。
  - 1-19 本ベッドは、ベッド側面に抑制帯を取付けることができるよう抑制帯受を取り付けられること。
  - 1-20 停電時や搬送時など、電源が取れない時でも手動で操作できるハンドルを必要数準備すること。
  - 1-21 ボトムは 3 分割の鋼板ボトムと 1 分割の樹脂ボトムで構成されていること。
  - 1-22 電源コードは、キャスターによる踏みつけや不用意な引き付きに対する強度を考慮し、外径 9mm 以上のケーブルを使用すること。
  - 1-23 手元スイッチは、2 つ以上のボタンを同時に押すと動作が停止するものであること。
- 2 一般用電動ベッド B 本体は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 一般用電動ベッドAの1-2～1-23の仕様を満たしたベッドであること。
  - 2-2 本体寸法は、幅1,000～1,100mm×長さ2,100～2,200mmであること。
  - 2-3 ボードは、特別室に相応しいよう木製ボードとすること。
- 3 一般用電動ベッドC本体は、以下の要件を満たすこと。
    - 3-1 一般用電動ベッドAの1-1～1-23の仕様を満たしたベッドであること。
    - 3-2 ボードは、特別室に相応しいよう木製ボードとすること。
- 4 差込式ベッドサイドレールは、1組(2本)あたり以下の要件を満たすこと。
    - 4-1 一般用電動ベッドA,B,Cの電動ベッド本体サイドフレームの左右どちらにも取り付け可能で、使用しない場合は電動ベッド本体に2本1組で格納できること。
    - 4-2 ベッドサイドレールの寸法は、幅950～1000mm、高さ550～570mmであること。
    - 4-3 手元スイッチを掛けることができること。
    - 4-4 表面処理は、錆防止及び表面強度処理を施していること。
- 5 移動支援バーは、以下の要件を満たすこと。
    - 5-1 使用者の落下を防止するサイドレール機能と、立ち上がりや着座の動作を補助する移動支援バー機能の2つの機能を有すること。
    - 5-2 一般用電動ベッドA,B,C電動ベッド本体の左右どちらにも取り付けできること。
    - 5-3 移動支援バーは、レバー操作により開く角度を3か所以上調整ができ120°以上開くことができること。
    - 5-4 移動支援バーの寸法は、幅1,100～1,200mm、高さ500～550mmであること。
- 6 ナースコール中継ユニットは、以下の要件を満たすこと。
    - 6-1 一般用電動ベッドA,B,C電動ベッド本体と既設ナースコールコンセントに接続することで、発報及び通知機能設定が可能であること。
    - 6-2 既設ナースコールシステムに接続できるよう、みらい棟用として20個、きぼう棟用として80個準備すること。
    - 6-3 ボタン操作により通知機能のオン及びオフを切り替え可能であること。
    - 6-4 業務効率化を図るため、一時的な離床の際に一時停止ボタン操作により通知機能を3分間以上一時的に停止させることが可能なこと。
    - 6-5 センサーとナースコールボタンの通知の鳴りわけができること。
- 7 操作パネルは、以下の要件を満たすこと。
    - 7-1 ベッドの各機能の操作、設定および検知した情報の確認を行える機能を有すること。
    - 7-2 タッチパネル式であること。
    - 7-3 ベッドをワンタッチでフラット状態に戻すことのできるボタンを有すること。

- 8 抑制帯受 A は、以下の要件を満たすこと。
  - 8-1 一般用電動ベッド A 電動ベッド本体のボトム裏側もしくはフレームに取り付けることができること。
  - 8-2 抑制帯受は左右セットであること。
  - 8-3 抑制帯受 A は、肩抑制を行う際に抑制帯が利用可能な位置に設置できること。
  
- 9 抑制帯受 B は、以下の要件を満たすこと。
  - 9-1 一般用電動ベッド A 電動ベッド本体のボトム裏側もしくはフレームに取り付けることができること。
  - 9-2 抑制帯受は左右セットであること。
  - 9-3 抑制帯受 B は、体幹抑制を行う際に抑制帯が利用可能な位置に設置できること。
  
- 10 抑制帯受 C は、以下の要件を満たすこと。
  - 10-1 一般用電動ベッド A 電動ベッド本体のボトム裏側もしくはフレームに取り付けることができること。
  - 10-2 抑制帯受は左右セットであること。
  - 10-3 抑制帯受 C は、腕抑制を行う際に抑制帯が利用可能な位置に設置できること。
  
- 11 酸素ボンベホルダーは、以下の要件を満たすこと。
  - 11-1 一般用電動ベッド A, B, C 電動ベッド本体に問題なく取り付け、使用ができること。
  - 11-2 頭側および足側のベッドボードに、酸素ボンベホルダーのフックを引っ掛けて取り付け使用できること。
  
- 12 停電ハンドルは、以下の要件を満たすこと。
  - 12-1 一般用電動ベッド A, B, C 電動ベッド本体の接続ボックスに接続することで、ベッドの操作ができること。
  - 12-2 災害などによる停電などの緊急時やコンセントのない場所で電力を発電し、ベッドのボトムおよび高さのあげ・さげ操作ができること。
  - 12-3 ハンドルは未使用時の収納性を考慮し折りたたみできる構造であること。
  
- 13 整形ボードは、以下の要件を満たすこと。
  - 13-1 一般用電動ベッド A 電動ベッド本体で牽引をする場合に使用できるボードを準備すること。
  - 13-2 ヘッドボード及びフットボードは容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためストッパーを設けること。また、ボード取り付け時にロックし忘れを防止するため自動ロック機構を有すること。
  
- 14 マットレス A は、以下の要件を満たすこと。

- 14-1 寸法は、幅 830mm×長さ 1,910mm 程度であること。
- 14-2 マットレスの厚みは、12cm 以上であること。
- 14-3 患者の状況や好みに合わせて使用できる、両面で硬さの異なるリバーシブル仕様であること。
- 14-4 ソフト面（やわらかい面）は優れた体圧分散性を備え、ハード面（かたい面）はからだをしっかりと支える硬さを備えていること。
- 14-5 動きやすさと寝姿勢に配慮した、ポリエステル繊維とウレタンフォームのハイブリッド四層構造以上であること。
- 14-6 カバー四隅にリネンストッパーを有し、体圧分散性低下を防ぐ機能を有すること。
- 14-7 カバーに防水加工を施してあり、次亜塩素酸ナトリウムで清拭消毒可能であること。
- 14-8 ファスナーには、止水加工を施してあること。
- 14-9 持ち運び用に、片側側面に 1 対(2 箇所)の取っ手が配置されていること。
- 14-10 カバー色は現在使用中のマットレスと識別ができるように工夫を施していること。

15 マットレス B は、以下の要件を満たすこと。

- 15-1 寸法は、幅 910mm×長さ 1,910mm 程度であること。
- 15-2 マットレス A 14-2~14-9 の仕様を満たすこと。

16 エアマットレス A は、以下の要件を満たすこと。

- 16-1 寸法は、幅 830mm×長さ 1,910mm 程度であること。
- 16-2 マットレスの厚みは、17cm 以上であること。
- 16-3 小さな体位交換を自動化したシステムを有すること。
- 16-4 患者の寝位置を検知するためのセンサーを搭載していること。
- 16-5 患者の体幹を保持する機能を有すること。
- 16-6 患者の動きに合わせてエアセルのかたさを自動で調整する機能を有すること。
- 16-7 除湿機能を有すること。
- 16-8 別途オプションのケーブルを使用することで、一般用電動ベッド A, B, C 電動ベッドから電源供給を可能とすること。
- 16-9 省スペース化のためにポンプはマットレスに内蔵されていること。
- 16-10 カバーに防水加工を施してあり、次亜塩素酸ナトリウムで清拭消毒可能であること。

17 ケーブルは、以下の要件を満たすこと。

- 17-1 エアマットレス A と一般用電動ベッド A, B, C 電動ベッドを接続することでベッドの電源からエアマットレスの電源供給を可能とすること。

18 エアマットレス B は、以下の要件を満たすこと。

- 18-1 寸法は、幅 840mm×長さ 1,920mm 程度であること。

- 18-2 マットレスの厚みは、13cm 以上であること。
- 18-3 小さな体位交換を自動化したシステムを有すること。
- 18-4 マットレスに内蔵したセンサーが背上げの角度を検知し、角度に応じた適切な内圧に自動調整してくれる機能を有すること。
- 18-5 異常をわかりやすくお知らせする光サインを有すること。
- 18-6 誤操作を防止するキーロック機能を有すること。
- 18-7 停電と同時にマットレスの空気漏れを自動で遮断する機能を有すること。
- 18-8 ムレを防止する機能を有すること。

19 エアマットレス C は、以下の要件を満たすこと。

- 19-1 寸法は、幅 840mm×長さ 1,920mm 程度であること。
- 19-2 マットレスの厚みは、12cm 以上であること。
- 19-3 皮膚局所の温度と湿度の上昇を抑えて床ずれリスクを軽減する機能を有すること。
- 19-4 背上げ中のずり落ちを軽減するため、傾斜型 2 層式エアセルを有すること。
- 19-5 背上げの継続時間を視覚的に把握できる機能を有すること。
- 19-6 異常をわかりやすくお知らせする光サインを有すること。
- 19-7 誤操作を防止するキーロック機能を有すること。
- 19-8 停電と同時にマットレスの空気漏れを自動で遮断する機能を有すること。

20 エアマットレス D は、以下の要件を満たすこと。

- 20-1 寸法は、幅 840mm×長さ 1,920mm 程度であること。
- 20-2 マットレスの厚みは、15cm 以上であること。
- 20-3 皮膚局所の温度と湿度の上昇を抑えて床ずれリスクを軽減する機能を有すること。
- 20-4 マットレスに内蔵したセンサーが背上げの角度を検知し、角度に応じた適切な内圧に自動調整してくれる機能を有すること。
- 20-5 背上げの継続時間を視覚的に把握できる機能を有すること。
- 20-6 関節拘縮が強い患者に効果的な体圧分散機能を有すること。
- 20-7 異常をわかりやすくお知らせする光サインを有すること。
- 20-8 誤操作を防止するキーロック機能を有すること。
- 20-9 停電と同時にマットレスの空気漏れを自動で遮断する機能を有すること。

21 エアマットレス E は、以下の要件を満たすこと。

- 21-1 寸法は、幅 830mm×長さ 1,930mm 程度であること。
- 21-2 マットレスの厚みは、17cm 以上であること。
- 21-3 患者の臀部付近にかかる圧の可視化機能を有すること。
- 21-4 マットレスが身体状態の変化に対応し、自動で最適な圧対策を行う機能を有すること。

21-5 端座位時の安定性を確保するため、マットレスの両端にウレタンフォームを有すること。

21-6 省スペース化のためにポンプはマットレスに内蔵されていること。